

## 3 m<sup>2</sup>からはじめるまちづくり

おやすみ処ネットワーク（埼玉県戸田市）  
—高齢者や移動制約者のおでかけを支援するベンチャー

京都大学 建築学専攻  
吉田 哲

人口が増える・多いときは、若い世代も多く、

人口増加・都市拡大→**効率性**！

用途別の建物、住宅1戸当りの面積拡大、

**大きな建物をたくさん**、いかに**早く**建設できるか、  
近郊、郊外でも**電車**や**自家用車**があれば  
買物、通勤・通学にも不便はない、

**車**の通行や**若者の通行**に便利な道路、  
2車線、3車線道路  
せまい歩道、歩道がなくても、

人口が増える・多いときは、若い世代も多く、

北欧、ブラジル、都市中心部では、1960・70年代～

**都市幹線道路を歩行者街路化**

2000年頃か、

**歩いて回遊**→**滞在**できる場所が**豊かな経験**

来街者・観光客の増加

同じ場所での**滞在時間の増加**

→道行く人を眺める時間の豊かさ

スターバックスをはじめ、店先のベンチやテーブル





京都駅、2012年



錦通、2012年

三条通、2012年

## 道々、休んでいる、へたっている高齢者

- 脊椎管狭窄症、間欠性跛行
- 冠動脈血栓
- 間質性肺炎:6分間歩行距離
- 気分がふさぐと外出もしなくなり、、、生活不活発病
- 入院1カ月で介護度5へ、、、
- 家~350m:買物、650m:駅  
50-100m続けて歩けない、、、
- 心筋梗塞、脳梗塞の後遺症
- 動悸・息切れ、、腰が、膝が、



## 500mの外出ができなくなり、、

- 柳他、高齢者が無理なく歩ける距離=390m  
STUDY OF DESIGNING LIVING ZONES CONSIDERING AGED PEDESTRIANS  
-Focusing on the aged living in Seoul, Korea-  
日本建築学会技術報告集 19巻43号pp.1061-1066、2013年
- 西野他、健康高齢者外出距離=386m、481m  
ある地方都市における高齢者の日常生活圏域の実態とその圏域間比較  
日本建築学会計画系論文集、Vol.81、No.728、pp.2117-2127、2016.10  
—中学校区を基本とする日常生活圏域設定の妥当性検討  
—地方中核都市における高齢者福祉行政単位と高齢者の行動実態との比較考察—  
日本建築学会計画系論文集、Vol.79、No.699、pp.1109-1118、2014.5
- 樋野、75歳以上、店舗まで、不満感じ始める距離=徒歩834m  
買物不便が高齢者の食生活に与える影響とその対策:  
板橋地域における高齢者買物行動調査の結果分析、  
日本建築学会計画系論文集、No.556、pp.235-239、2002.6
- 竹本、高齢者徒歩圏=往復10分越えない、分速60m5分=300m  
コンビニ難民、小売店から「ライフライン」へ、中公新書ラクレ、pp.132-133、2016.3

## 高齢者が増える時期には、、

2018.10:65歳以上28%、75歳以上14%(1779万人)

- (後期)高齢者にとっての日常の外出は、、  
自動車、自転車をやめたあと  
近隣に子供世帯や親族がいなければ、、  
= **日常生活圏域の縮小**  
← **閑静な住宅街、で大きな課題!**

- 徒歩圏内でいかに豊かな生活を持続できるか**  
**エイジング・イン・プレイス**  
ヨシダ訳:高齢期の地域継続居住  
←→医療方針の大転換も裏に

# 近郊・郊外住宅市街地での居住継続とは、

5分歩けば、10分歩けば座りたい:75歳を越えると、  
→歩いてる途中で休めることが大事:歩いて暮らせる?  
ベンチ・公衆便所のある道を歩く! (08年調査)

買うものは自分の目で確かめてから買いたい!  
買物へは気分転換に片道くらいは歩きたい!  
→駅、バス停から片道くらいどこでも歩けるとよいなあ

歩道拡幅、バリアフリーだけでは高齢者は歩かない  
歩くことができる=途中ですわっていきことができる  
目的地があることも大事だが、

埼玉県戸田市／池袋駅→17分、東京駅→34分、  
JR東北本線、埼京線、東北新幹線、東京外環状自動車道  
荒川～さいたま・川口市の南／埼玉最南端



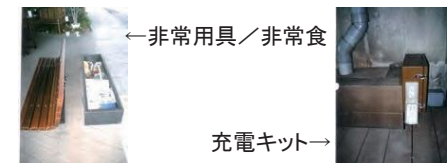
工場・倉庫跡地  
→大型マンション化  
→平成以降人口減なし  
1989: 8万人  
～2019: 14万人



図1 JR高架下、イベントスペース  
2004年4月



1番地 朝市



←非常用具／非常食

充電キット→

<http://www.machi-ken-kou.net/1gou.htm>  
20190714確認  
戸田氏ボランティア・市民活動支援センター  
ホームページTOMATO  
<https://genki365.net/gnkt01/pub/sheet.php?id=20120>  
20070413、20190714確認



イベント、シンポジウム、



NPO代表行きつけの店  
関係者の尽力で、

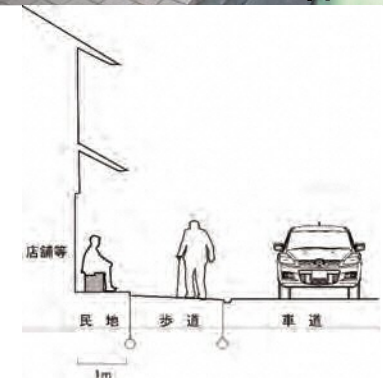
15番地



11番地



10番地



25番地: 図5: 金田氏提供  
8番地: 図6: 内閣府地方創生推進事務局、全国都市再  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/toshisaisei/05suisir>  
10,11,15番地: 吉田撮影、右: 図7

# ベンチ修理もイベント化



夜間: 中高生が騒いでないか、巡回

ベンチ設置先店舗の連携(チラシ設置)、  
閉店引継、新支店開店時設置→ソフトのネットワーク化

戸田市ボランティア・市民活動支援センターホームページ、環境みどり特集No.20『くおやすみ処』街かどで  
頑張るベンチ!』、<https://genki365.net/gnkt01/pub/sheet.php?id=105460>、20181007確認  
「まちのベンチに色をぬろう」開催報告、特定非常活動法人まち研究工房  
[http://genki365.net/gnkt01/mypage/mypage\\_gallery.php?gid=G0000006&glp\\_id=14840](http://genki365.net/gnkt01/mypage/mypage_gallery.php?gid=G0000006&glp_id=14840)、20181007確認

2006年  
内閣官房都市再生本部  
全国都市再生モデル事業:26

2017年:48番地まで  
店舗・事業所・住宅前:24  
医療・福祉系、宗教関係:11  
歩道・高架下:6  
公共施設前:4  
→大規模マンション前  
→個人住宅前!

近隣市、震災仮設住宅にも

戸田詣  
→各地商業地・歩道にも

金田氏資料、20170601現在

「おやすみ処」番地 (通し記号・番号)	参加団体または施設の名称 (団体・店舗・事業所・施設・道路等)	参加団体・施設 の分類	設置先の店舗の種類、施設の種類 または設置場所	ベンチ設置 (おやすみ 処ネットワークへの 参加)時期
よだ1番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	多摩川コミュニティサポート	第一号 2006年4月
よだ2番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	多摩川コミュニティサポート	2006年4月
よだ3番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年4月
よだ4番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ5番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ6番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ7番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ8番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ9番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ10番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ11番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ12番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ13番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ14番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ15番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ16番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ17番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ18番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ19番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ20番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ21番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ22番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ23番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ24番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ25番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ26番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ27番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ28番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ29番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ30番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ31番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ32番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ33番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ34番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ35番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ36番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ37番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ38番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ39番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ40番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ41番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ42番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ43番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ44番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ45番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ46番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ47番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月
よだ48番地*	特定非常活動法人 まち研究工房	NPO法人	コミュニティサポート	2006年8月

# 500mおき・民地→適者生存? →近い所:50-100m間隔で



現在のおやすみ処ネットワークはこちら  
[http://www.machi-ken-kou.net/oyasumidokoro/map\\_list.pdf](http://www.machi-ken-kou.net/oyasumidokoro/map_list.pdf)、20190714確認、

# ベンチ設置の法的根拠

2007年 都市再生特別措置法などの一部を改正する法律  
道路法の一部の改正←ベンチ、並木、街灯、  
法33条、令16条の2、規則4条4の9 許可要件の簡素化  
道路(歩道)内の占用での特例(NPO、商店街等設置ベンチ)  
法48条の20、21、22、令35条の3、規則4条の16、17  
道路外利便施設(私有地ベンチを利用施設協定で行政管理)

道路の移動等円滑化整備ガイドライン:余地幅員2m  
道路円滑化基準第18条:歩道幅員をベンチ設置後2m残す  
バリアフリー新法に基づく道路の構造基準の策定について—20061219  
[http://www.mlit.go.jp/road/sign/barrierfree\\_061219.html](http://www.mlit.go.jp/road/sign/barrierfree_061219.html)  
有効幅員最低2m確保著しく困難→当分の間、歩道有効幅員1.5m  
車いすが転回でき、車いす使用者と人がすれ違うことができる歩道  
京都市の道路占用許可基準:余地幅員1.5m  
第9条 ベンチによる占用  
(ア 物件高さが2.5m未満の部分は、路端から 1.5m以上)  
歩道の車道寄り、道路の利用状況を勘案し、  
道路管理上支障のない場所に設けること←上記規定外?



一般道路法人道路新産業開発機構、道路の新たな利活用に関する調査研究、新道路利活用研究会、道路関連施設整備支援に関する調査研究(平成26年8月)、6. 道路環境の改善、p.563 図6-11、道路法改正のポイント(平成19年3月)道路広報センターパンフレットより、  
[https://www.hido.or.jp/study/files/pdf/application\\_06\\_6.pdf](https://www.hido.or.jp/study/files/pdf/application_06_6.pdf)、20181115確認、

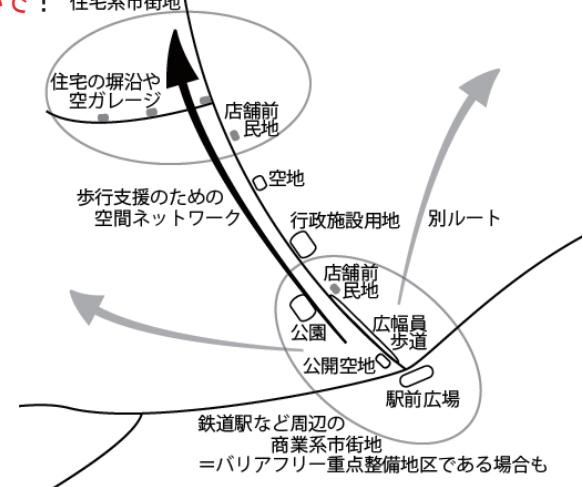


国土交通省社会資本整備審議会、道路分科会、基本政策部会、第21回部会資料 平成19年2月19日、<http://www.mlit.go.jp/road/ir/kihon/21/2.pdf>、20181115確認



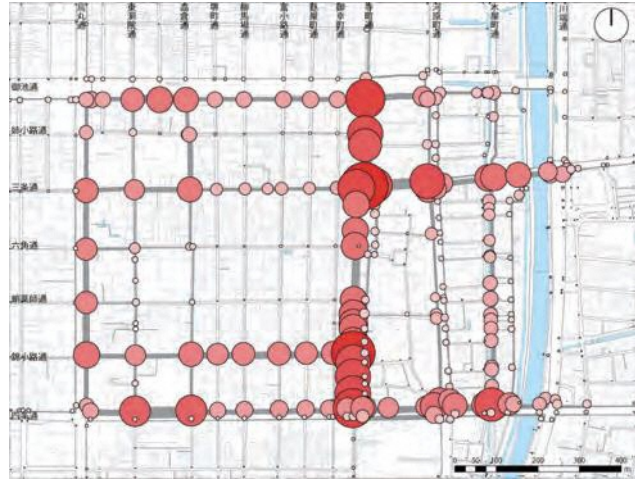
国土交通省提供：16番地

住宅系市街地居住の高齢者  
 買物・散歩を自分の足で→主要ルート、途中拠点連携・新規+生活支援へ  
**私有地をつないで！** 住宅系市街地



目的地型→経路沿道型：線状→放射状→網の目=ネットワークに！

# 高齢者がよく通る交差点はどこか？



吉田 哲、水野聖也、安俊相、京都市中心市街地における高齢者向け歩行休憩用のベンチ設置場所の選択  
 日本建築学会計画系論文集、第79巻、第701号、pp.1583-1591、2014.7  
 吉田 哲、中心市街地・商業地散策中における高齢者の利用を想定した休憩空間整備の総合的研究、  
 平成23-25年度、日本学術振興会科学研究費補助金、基盤研究(C)(一般)

通りがかりの人が座ってよい(気兼ねない)と「思う」場所  
 ≠座りたいと思う場所(景色が、歩いて来て疲れてる)  
 ≠ベンチ置いてよいと土地オーナーが了解する場所



①幅 2m 程度の建物余地



②マンション前の私有地



③寺の前の私有地



## 商店街で着座行動・設置意向等調査 2009-13年 北山杉ベンチの製作・設置へ 2012-14年



錦通、2014年



寺町通、2012年

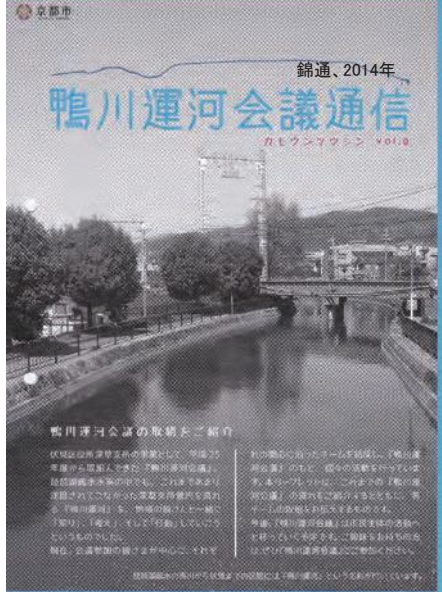


寺町通(今出川)、2014年



寺町通、2014年

# 鴨川運河会議へ、2015年(事業、13年～)





錦通、2014年  
**鴨川運河会議通信**  
カモウンマウン Vol.18

鴨川運河会議の取組をご紹介

伏見区南深草支所の事業として、平成25年度から開始した「鴨川運河会議」は、地産地消推進事業の一環として、これまで実行されてきた「カモウンマウン」を更に発展させることにより、地域の活性化を図ることを目的として、今年度も「カモウンマウン」を開催いたします。今年度は、鴨川運河の魅力を最大限に引き出し、地域の活性化を図ることを目的として、今年度も「カモウンマウン」を開催いたします。

## カモウンウォーキング

100年以上遡る「鴨川運河（琵琶湖疏水）」  
そこに隠された魅力を様々な視点から探そう！

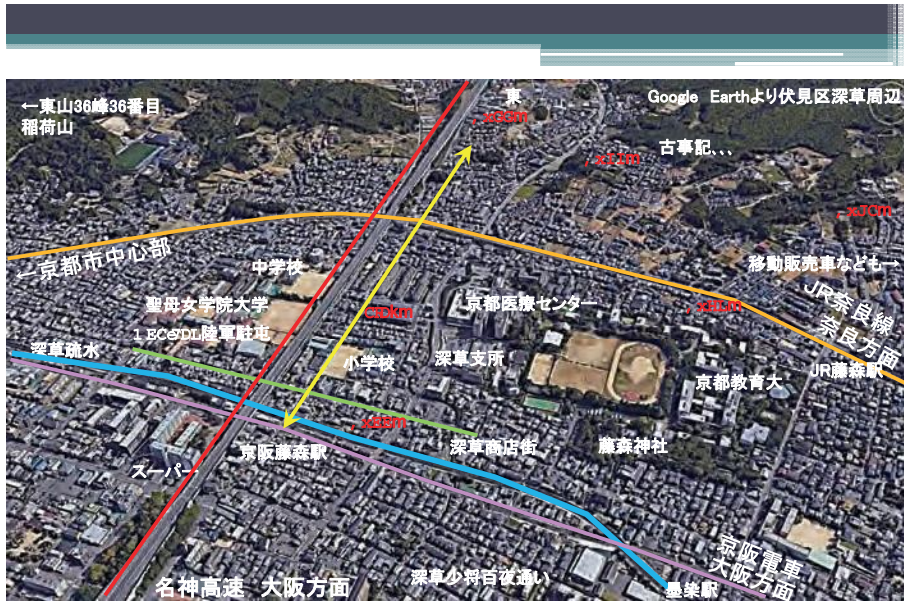
- ▶ 日時 2015年11月22日(日) 10:00(9:45集合)  
＜小規模実行＞
- ▶ 集合場所 鴨川運河「稲荷橋」(日市電福興駅跡)  
(伏見区深草一丁目)
- ▶ ウォーキングルート  
10:00 出発 稲荷橋 鴨川運河沿いに南下  
11:30頃 解散 京阪深草駅前近
- ▶ 定員 20名程度(先着順)
- ▶ 参加費 100円(保険代等)
- ▶ 主催 鴨川運河会議「カモウンウォーキング」チーム(事務局:深草支所)
- ▶ 協力 深草支所プロジェクト、深草・稲荷地区分譲予定推進センター
- ▶ 活いきお出かけ応援プロジェクト
- ▶ 問合せ 鴨川運河会議「カモウンウォーキング」チーム  
kamoun.ikai@gmail.com 担当: 鶴岡080-5438-3806

【同時開催】  
**鴨川運河を眺めて**  
“深草コーストの美味しい珈琲を飲みませんか！”

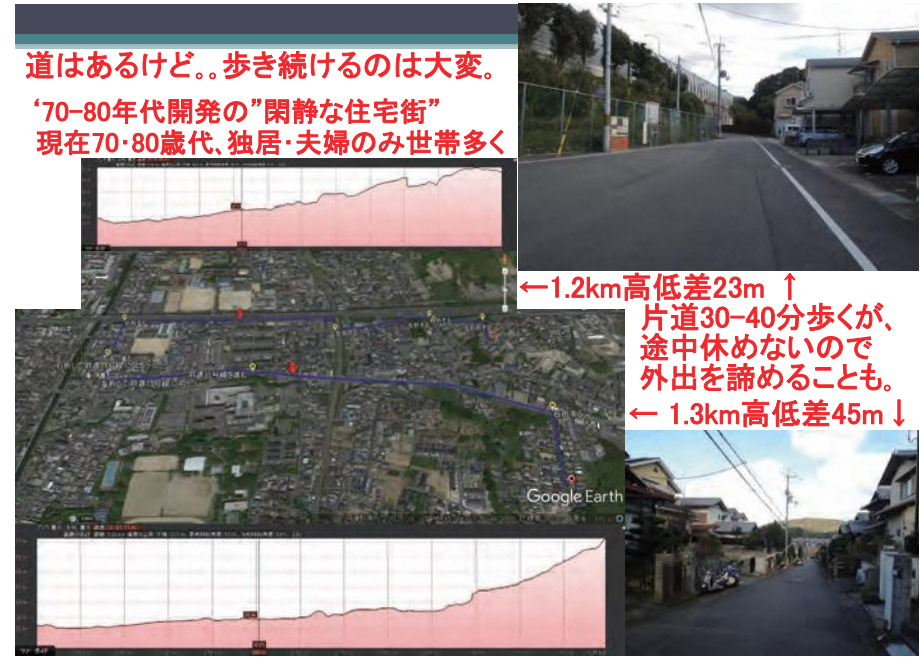
♪楽しい歌や楽器の演奏もありますよ。♪

場所:「野田橋」上ル東側 ⇒ 旗田橋の北へDと目の横  
時間:10時頃～13時頃 歌・演奏は昼前と13時頃から  
主催:鴨川運河会議  
「カモンカフェ」チーム・「音楽でつながる運河のまち」チーム

## 草刈りで橋のたもとに座れるように



JRより東は戦後の開発部分+1000年前の深草...  
1960年代からの郊外住宅地として継続して開発。80歳代～90歳代も。



## どこに置けるのだろうか？

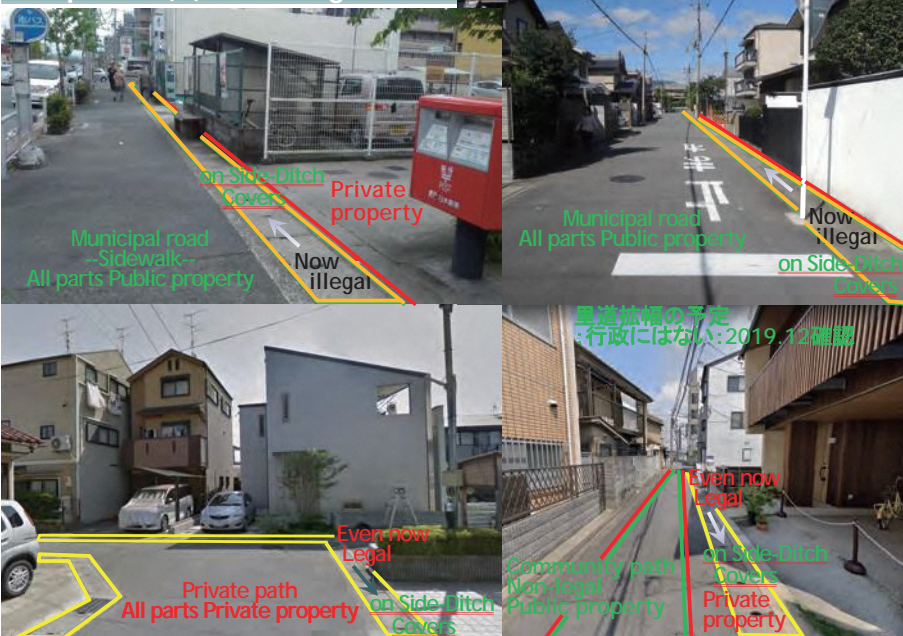
公園や歩道への設置は許可がいります  
 広い歩道には市が既に置いています  
 交通局などもバス停に→固定設置！  
 狭い歩道への設置はムリです  
 警察の規定でベンチを置いた後の幅が1.5m？  
 誰も言わない？→通報されるとすぐ撤去されます  
 車道上＝違法です。あぶないです。  
 お店の私有地……気のいい店長・社長さんたちがいる！  
 でも、駅に近い辺りは多くのよその人が座ります…

住宅だけになってきた場所ではどうでしょうか？  
 使わない駐車場の道路際、空地や空家の前を借りて、  
**家の軒先、軒の下、ガレージ前などの私有地がキー**





## Proposal (1) after agreement of residents, land owner



## Proposal



## わかりやすい印

だれでも座ってもいいですよ！ を  
 わかりやすく共通に示した**呼び名**、マーク、ステッカー  
 おでかけベンチ、止まり木ベンチ、、  
 深草、藤森、藤城、  
 西京区川岡、檜原、、

ないと座ってよいか、わからないので、座るのに躊躇します！



## ベンチを制作する・買うお金はどうしますか？

知らないうちに誰かがやってくれた、では扱いが粗雑に？

北山杉ベンチ:5万円:吉田木工、組立・運搬・防腐剤塗装:吉田研  
 深草竹ベンチ:1.3万円:角材組立:吉田研、竹組立指導:NPO竹と緑  
 ←デザイン:吉田、吉田研劉・杉本。こういうのが楽しい！

手持ちのパイプ椅子:ゼロ円/川岡敬老会  
 金物連結具製作:3000円

コーナン:7-8000円  
 商店街:アーケード付替補助の事前事業で  
 いいき市民活動センター:活動支援費用で  
 置く場所が決まっていれば:区民活動支援事業で?  
 寄付、クラウドファンディング、ネーミングライツの活用?



# 知ってもらおう！2018年度活動を中心に、走り回って、

## 福祉関係の地元相談会等で広報

- 深草中部地域包括～ 0709
- ふかくしゃべり場 0410, 1009, 1114
- 深草フォローアップ研修 0616, 0818, 1020
- 大岩七瀬川サロンの会 0723, 0910, 1110←藤紫会: '160911,' 170314
- 深草南部地域包括～・伏見区まちアド 0820
- 藤城学区ケア会議 1029→実行委員会立ち上げへ
- 藤森学区ケア会議 1030→同上
- 伏見区社協支え合いカフェ 0913
- 桃山東支え合いの会(住民ボランティアで高齢者日常生活支援) 0531, 1026
- 深草学区社協健康すこやか学級 1208
- 深草小学校の5年生総合学習へ 1112, 1120, 1207, 1214, 1218, 0129: 計4脚
- ベンチ制作の会 深草1031, 1103, 1108, 醍醐0910, 1126: 計4脚
- 地域のおまつりでお披露目
- 第28回深草ふれあいプラザ 1021←市長さんも聞いてくれました
- 伏見区民文化祭「絵画写真作品展」優秀作品巡回展示会 深草支所1111-16
- 第12回ふかくさ100円商店街 1123
- 第28回醍醐ふれあいプラザ 0917
- 西京区民ふれあいまつり2018 1117←市長さんも聞いてくれました
- その他講演会: 仙台(災害公営住宅WS: 0906)、近江八幡(まちづくりWS: 0124)、
- 東京(建築学会建築計画小委員会、事例報告: '171212)、
- 京都(ボランティアコーディネーター協会事例報告: '190302)
- 精華町(寿大学: '1906予定)、西京区川岡学区: '171003



## 1年11か所 + 隣2学区20カ所

免許返納で  
使わなくなったガレージへ  
94・88歳ご夫婦宅→

築200年の町家へ



## 西京区榎原本陣前



2019.5 西京区個人宅



2019.9. 西京区川岡学区パイプ椅子連結金具試作(ワタカ)

まずは、  
三山のへりの住宅系市街地から  
駅、バス停、お店、各種施設まで  
歩くことができる

= 途中ですわっていくことができる  
→ 歩き継ぎベンチ = おでかけベンチ  
2-3分休む場所を私有地連携で  
→ ベンチを歩き継いで介護予防？

- ・目的地(居場所づくり)
- ・居場所等の拠点連携: 来場者シャッフル
- ・買物支援・配達: 何力所か必要
- ・日常生活支援を隣接学区で相互補完?
- ・子ども食堂、学習支援との連携

ベンチがあると、行ける所が目に見えるネットワークに！

自立した暮らしを継続できそうな予感？

自宅前に1つあれば、自宅前は座る所のある道路1本目！

## Walkable KYOTO!!



住宅系市街地居住の高齢者  
買物・散歩を自分の足で→主要ルート、途中拠点連携・新規+生活支援へ  
私有地をつないで！

First 100m!!



目的地型→経路沿道型: 線状→放射状→網の目=ネットワークに!  
「道」・「目的地」の「目に見えるネットワーク」。特に最初の100m